

## 電子添文改訂のお知らせ

2025年3月

販売 共創未来ファーマ株式会社  
製造販売元 大原薬品工業株式会社

プロトンポンプ阻害剤  
ラベプラゾールナトリウム錠  
**ラベプラゾールNa塩錠 10mg オーハラ**  
RABEPRAZOLE Na TABLETS 10mg OHARA.

プロトンポンプ阻害剤  
ラベプラゾールナトリウム錠  
**ラベプラゾールNa塩錠 20mg オーハラ**  
RABEPRAZOLE Na TABLETS 20mg OHARA.

この度、標記製品の電子添文を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。  
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂内容（改訂項目のみ抜粋）

〔一部：削除箇所（厚生労働省告示、自主改訂）〕

改訂後			改訂前																	
<b>規制区分</b>			<b>規制区分</b> 処方箋医薬品 <sup>※</sup> 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること																	
<b>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</b> 2.1 <略：現行どおり> 2.2 リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]			<b>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</b> 2.1 <略> 2.2 アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]																	
<b>10. 相互作用</b> <略：現行どおり> <b>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</b>			<b>10. 相互作用</b> <略> <b>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</b>																	
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]</td><td>リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。</td><td>本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。			<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ） —[2.2 参照]—</td><td>アタザナビルの作用が減弱するおそれがある。</td><td>本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。</td></tr><tr><td>リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]</td><td>リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。</td><td>本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ） —[2.2 参照]—	アタザナビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。	リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																		
リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。																		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																		
アタザナビル硫酸塩（レイアタッツ） —[2.2 参照]—	アタザナビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、アタザナビルの溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下するおそれがある。																		
リルピピリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	リルピピリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用により、胃内pHが上昇し、リルピピリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピピリンの血中濃度が低下することがある。																		

## 2. 改訂理由

- (1) 厚生労働省告示第六十三号（令和7年3月21日付）により「ラベプラゾール」につきまして、「処方箋医薬品」の指定が解除されたため削除致しました。
- (2) 併用禁忌対象の「アタザナビル硫酸塩（レイアタツ）」が販売中止となりましたので、「2. 禁忌」「10.1 併用禁忌（併用しないこと）」から同剤に関する記載を削除致しました。

---

使用上の注意の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行「DSU 医薬品安全対策情報 No.335」に掲載されます。

最新の電子化された添付文書は、以下のホームページに掲載しております。

- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp>）
- 弊社ホームページ（<https://www.kyosomirai-p.co.jp>）

また、以下のGS1コードを、専用アプリ「添文ナビ<sup>®</sup>」で読み取ることも、ご覧いただくことが可能です。

ラベプラゾール Na 塩錠 10mg 「オーハラ」のGS1コード



ラベプラゾール Na 塩錠 20mg 「オーハラ」のGS1コード



---

### 【お問い合わせ先】

共創未来ファーマ株式会社 お客様相談室

電話：050-3383-3846

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日、弊社休日を除く）